	3	平成24年	度沖縄振興特	別拍	進交	付金事業	(県分)	検証シ	ノート【公	表用】		
事業番号	11	多様な陶器生産	産システム構築事業					244 AM 2.4	ш.67 г.25t_5.	第3章	3 - (9) - ア	
・事業名									世紀ビジョン画該当箇所	ものづくり産	業の戦略的展開	
担当部課名	企画部	邓科学技術振興課	<u> </u>		業実施 定) 年度	平成24年度	-	油縄振	興基本方針			
	批提品	※の塩銅に姿す	スため 旧産陶哭田	(予定)年度 「一次24年度 日の坏土(はいど)の品質改善や製品の			か制品の書意	該	当箇所	をは歩の向 ト友	図る宝紅 研究車	
		施する。	るため、未圧両配力	10221-	L(18.010		で表面の重点	EID. M.	の用光なこ王店	于1人以10人口1工。	.దర్గట్ గుగ్రహ	
事業内容												
実施方法	j	直接実施	委託	補助		負担	その他	()				
				24年度			25年月	ŧ	26年度	E C	27年度	
	<u></u>	a)当初予算額	100	うち3 0,804		寸金充当額 80.643						
	予 (b)予算現額	100,			80,643						
予算額・ 執行額 (単位:干円)	昇 (c)增減額(b-a)	<u>'</u>			0						
	状 (d)前年度繰越額	-			-						
		A.計(b+d)	100,8	804		80,643						
		3.執行済額	47,2	268		37,814						
	_	年度繰越額 率(%)(B/A)	46	.89%		0 46.89%						
	プレハブ設備の賃											
	予算	の状況の説明	プレハブ設備の賃債 で対応することによ							より低くなってし	まったが一般財源	
	example of the control of the contro								*-#\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
	H24活動目標(指標)				Г				達成状況			
						24年度	25年月		26年度	27年度	28年度	
	·坏土の品質改善に向けた原土調合方法 の研究の実施				標	研究の実施						
	の研究の実施 ・陶器製品の量産化を可能とする型製作に 係る研究の実施				績	研究の実施						
活動目標	係る研究の実施			_	神具	WI7107天/池						
(指標) 及び達成状況					標							
				実	績							
	净											
	達成状	計画通り 「杯	土の品質改善に向	11++-1	百十钿~	今七法の母の	カバ「昭知祭	制口の昌	- 帝ルた可能レ	オス刑制作に	仮2四穴 た宝体	
	八 況 説		、活動目標を達成				火い 陶品	老品の里	性化を可能と	9 o空表下に	.除る町九」を美肥	
	明											
		H24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)	24年月	度	25年度	26年度	目標値(年度)	
						(112)	****	n Fribb			(1,2)	
			月が可能な基礎とな	目	標	-	・調合方法の確立					
	・陶器	の調合方法の確 製品の量産化がす	立 可能となる技術の確									
	立			実	績	-	·調合方法の ・技術の確立					
成果目標 (指標)	【参考:	比描1									_	
及び進捗状況	12 31	F1#1		目	標							
				実	績							
	進											
	捗状	目標通り「様々	な陶器製作に応用	目が可	能な基準	礎となる坏土の	の調合方法。	及び「陶	器製品の量産	化が可能とな	る技術」が確立さ	
	況説		、県内の陶器の品								- 1211111111111111111111111111111111111	
	明											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)									
取組の検証	・品質の高い陶器を安定的に生産していくためには、良質な原土を安定的に確保し、坏土の更なる品質安定化が必要である。 ・量産化技術を習得するためには時間がかかるとともに高度な技術を継続して蓄積して行く必要がある。	本事業で確立された技術を継続して改善・効率化していくとともに、いかにして民間企業へ普及させていくかが、県内の陶器の品質向上、量産化をしていくうえで重要となる。									
	今後の取り組み方針										

今後は、沖縄県工業技術センターと壷屋陶器共同組合が協力し、継続して技術の改善・効率化に取り組むとともに、講習会などを通じて県内企業に対して品質向 上・量産化に向けた技術の普及・啓発を行っていく予定である。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 交付対象 事業費 交付対象外 うち県負担金 (20%) 総事業費 うち交付金 うち市町村 経費 その他(%) 充当額(80%) 負担金(%) 95,988 47,268 37,814 9,454 0 48,720 委託料 43,197千円 多様な陶器生産システム構築事業受託コ シがは四部生産アステム情楽事業シンソーシアム 代表者:協同組合 沖縄産業計画 構成員:ゆいまーる沖縄株式会社 構成員:壷屋陶器事業協同組合 多様な陶器生産システム構築事 業委託業務 沖縄県 株式会社 沖縄環境保全研究所 耐火度検査前処理委託業務 1,785千円 交付対象 事業費 47,268千円 事務費 4,071千円 賃金、旅費、需用費 交付対象外経費 48,720千円

j	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の点が		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、企画競争により提案内容、業務体制、予算
点検			規模などを総合的に勘案して選定しており、妥当であると認められる。
評費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	のられる。 費目、使途については、金額の確定時に検査を行い、適 正であると認められた。
,,,,,		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	正(めると高めのつ10/に。

	平成24年	<mark>变沖縄振興特</mark>	別推進3	を付金事業	(県分)	検証	シート【タ	∖表用】		
事業番号	84	オキナワものづく	りネットワー	-ク構築事業		沖縄21	世紀ビジョン	第3	章-3-(9)	ーア
	i		***				画該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
担当部課名	商工労働部 ものづく	り振興課	事業実施(予定)年原		~ 2 6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ—1—(4)		
事業内容	県内製造業の企業間連 チングセミナー)を一体(だを図るため、	研究開発(企業	業共同体等に よ	さる共同研	究、試作品開発	· 技術研	修(専門家招	3聘やマッ
実施方法	■直接実施	■委託 □]補助	□負担	□その他	()	T	T		
			24年度 うち交	付金充当額	25年月	度	26年月	度	27年	度
	(a) 当初予算額	81	,054	64,843						
	予 (b) 予算現額	81	,054	64,843						
予算額 · 執行額	の (c) 増減額(b-a) 状 (l) ** 5 5 5 6 8 1 # 15 5		0	0						
	(d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)	— 81	.054	64.843						
(単位∶千円)	B. 執行済額		,647	50,118						
	次年度繰越額		0	0						
	執行率 (%) (B/A)		77%	77%						
	予算の状況の説明	18,407千円の不用額 開発再委託先におり 成果目標の達成状	ける執行残、	事務費の執行	桟であるが、当					
	110 A T # L D	## / 					達成状況			
	H24活動目標	票(指 <i>標)</i>		24年度	25年	度	26年度	27年月	迂 28	8年度
	支援企業件数		目標	3件						
活動目標	又饭正未 什奴	実 績	4件							
で割り保 (指標) 及び達成状況	ものづくりに関するセミ・	+_	目標	1件						
		,	実 績	1件						
	水 状 3月に『ものづ	こ研究開発テーマを 勘案して採択するで くり産業振興フォー 団体によるパネル・	研究開発テー -ラム』を開作	-マを増やした 崖し、県内に立	:。 :地または立均	也予定の	ものづくり企業	による講	演やこうした	-企業と県
	H24成果目	票(指標)		基準値 (24年度)	24年月	度	25年度	26年月		目標値 毎年度)
	採択案件の実用化 【参考指標】 県調査による集計(実用化:試作向けて準備中)		目標	0%	45%	i				45%
	*算出根拠:経済産業省の地域 発事業の製造技術分野の実用イ 定。 例:4件の事業が完了し、2件が9 化率は、50%となる	比率42%の同等の水準に設	実績		1009	%				
成果目標 (指標)	【参考指標】		目標	_	_					_
及び進捗状況	製造品出荷額(石油・石	「炭除く)	実 績	3,992億円 (21年)	3,871億 (22年					800億円 28年)
	【参考指標】		目標	_	_					_
	製造業従事者数		実 績	24,812人 (21年)	24,812 (21年					I,812人 21年)
		らける廃熱を利用した 5外線非破壊内部検:					の実用化、脱力	人機能を向	上した汚濁水	〈処理装置

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取 組 മ

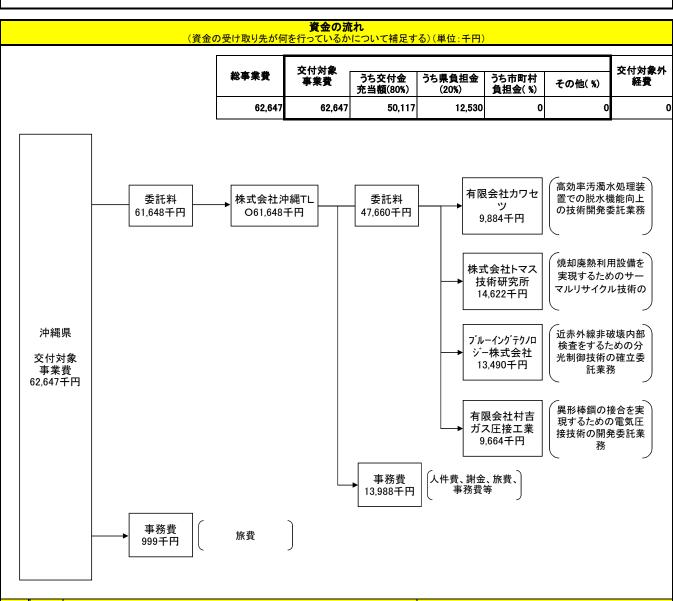
と低く、さらに製造業における汎用機械、生産用機械、業務用機械など加工 組立型産業の割合が全国平均(27.9%)に対し、本県は3.1%である。このように 加工組立型産業、さらにこれらを支えるサポーティング産業の脆弱さが、県 フォローアップなども実施していく。 内のものづくり企業がその加工・製造において必要とする生産ライン機器な どのニーズに対応できず、県外から調達することとなり、県内ものづくり企業 の低コスト化、安定生産などの生産性向上の阻害要因となっていると考えら

県内総生産に占める製造業の割合が、全国平均(19.6%)に比べ、本県は4.0% 県内外企業からなる共同研究体による機械・装置開発等を実施し、県内外 ネットワークを構築することで、県内ものづくり企業の装置ニーズの内製化を

今後の取り組み方針

国と県はこれまでに金型技術研究センター等の整備やものづくり基盤高度化事業等を連携して取り組んでおり、本事業についても、引き続き連携して取り組むこ とが適切であると考える。さらに、地方の中小企業連携によるこうした取り組みは、我が国の製造業及び関連産業の成長へ大きく貢献するものと考えており、引き 続き国費投入により事業化を図りたい。

活動目標、成果目標ともに達成できており、今後もプロジェクトのマッチング支援や採択案件に対するフォローアップを通して目標達成に取り組んでいく。



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、
点れ検、	0	プ昇規模は事業内容に見合つた週正な規模となっているか。 	実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考 えている。
評費価目	_		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。

	3	<mark>平成24年</mark> 月	<mark>セ沖縄振興特</mark>	別推	進交值	寸金事業	(県分)	検証	シート【名	表用】			
事業番号 ・事業名	85		沖縄県縫製ӭ	業新展	開促進事	業		沖縄21	世紀ビジョン画該当箇所	第3章	:-3-(9)-7		
担当部課名	商工的	労働部ものづくり	振興課		集実施 定)年度	平成24~26年	度	沖縄振興基本方針 該当箇所		ものづくり産業の戦略的展開 			
事業内容			l内衣類縫製産業の DEM提携先の誘致等				支術力向上を			び分析、コーデ	ィネーター配置に		
実施方法		直接実施	■委託 □	□補助 □負担 □その(□その他	p ()					
				24年月		A 11 T	25年月	芰	26年度	Ę	27年度		
		(a) 当初予算額	78,9		うち交付	金充当額 63,193							
	-	(b) 予算現額	78,9			63,193							
予算額・ 執行額 (単位:千円)		(c)增減額(b-a)											
	況	(d)前年度繰越額				-							
		A. 計 (b+d) B. 執行済額	78,9			63,193 58.914							
		欠年度繰越額	73,0	0		0							
	執行率(%)(B/A) 93					93.2%							
	予算の状況の説明 一部の研修について				対象企業	が減少したこと	等のため、	当初予算。	より5,349千円の	不要が生じるこ	こととなった。		
	H24活動目標(指標) ・県外派遣研修:3年間のべ90人								達成状況				
						24年度	25年月	芰	26年度	27年度	28年度		
					標	30人							
活動目標	- 示が派追別形. 3牛间のパ30人				績	133人							
(指標)	•県内	研修∶3年間のべ4	目	標	164人								
				実	績	173人							
	達成状況説明	○県内研修 ・工場診断 7. ・生産管理セミ ・縫製技術 34	修 (3人×22日= 人×2日=のべ14J ナー 26名×3日= ±3チーム 3名×7 3×7日+1名×4E	し =のべ 日+3	78人 名×4日	・アタッチメン ・試作品製作 +3名×4日= =のべ24人	ハセミナー 乍 8名	- 1名×4	.=のべ133人 1日=のべ4人				
		H24成果目標	票(指標)	/		基準値 (年度)	24年月		25年度	26年度	目標値 年度)		
		派遣研修、県内研 向上 ・県外派遣研修 年		目	標	_	30人、16	64人			_		
		・県内研修 年間	のべ164人	実	績		133人、1	73人					
成果目標 (指標) 及び進捗状況		品出荷額(石油•石	炭除く)	目	標 (3,992億円 (平成21年度)					6,300億円 (平成26年度)		
				実	績								
	進捗状況説明	一部の研修につ	いて実施対象企業が	が減少	した以外	は、計画通り事	業を実施し	t:。 					

H24-No 85

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

技術研修が実施可能な期間は閑散期に限られることから、平成24年度は 一部の研修が実施できなかった。そのため、限られた期間に集中的に研修を 実施できる体制を整え、引き続き、縫製事業者の技術力向上に効果的な研 修を実施する必要がある。

取

組 の 検証

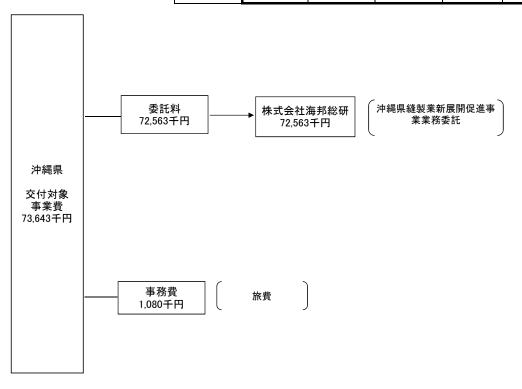
今後の取り組み方針

縫製業は雇用効果が高いことから、工場の稼働率平準化は本県の雇用情勢の改善に大きく寄与するものである。そのため、県外からのOEMの受託や海外展 職長表表の雇用が表表が同じてこれでは、予修を促進する。特に技術向上研修については、平成25年度は布は<縫製技能士(国家検定)の2年に1度の試験開催 年のため、資格取得者の増加に向けても支援を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	交付対象					交付対象外	
総事業費	事業費	うち交付金 充当額(80%)	うち県負担金 (20%)	うち市町村 負担金(%)	その他(%)	経費	
73,643	73,643	58,914	14,729	0	0	0	



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	
の点れ、	0		〇委託事業者は公募型プロポーザル方式により提案内容や 企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当
評費	-		正来組織、美積、和職等を倒染した工で選定してあり、女ヨであったと考えている。
- Pad (C)	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

	직	<mark>₹成24年</mark> ♪	<mark>度沖縄振興特</mark>	<mark>別推進</mark>	·交付金事	<mark>業(県分)</mark>	検証	シート【2	〉表用 】	
事業番号 ・事業名	86		泡盛域外出	出荷拡大支	援事業		油縄21	世紀ビジョン	第3章 -	3 - (9) - イ
**************************************								画該当箇所	ものづくり産業 ンドの形成	の振興と地域ブラ
担当部課名	商工労	歯部ものづくり	振興課	事業実 (予定) ^会		度~H26年度		興基本方針		1 - (7)
			上させ、域外出荷拡発信及び調査研究			、商品特性や歴		当箇所 的背景を活かし		, ,
事業内容	нс .	グョン ICの & IFFTIA .	尤旧以U 메요 wi ノu s	P未でiwo口						
実施方法	Ī	直接実施	委託	補助	負担	その他	()			
	_			24年度	5交付金充当額	25年月	度	26年月	度	27年度
	(;	a)当初予算額	164	4,910	131,928	8				
	_ <u> </u>	b)予算現額		4,910	131,928					
予算額・ 執行額 (単位:千円)	の (d	c)增減額(b-a)		0	(0				
	状 ((d)前年度繰越額		0		0				
		A.計(b+d)		4,910	131,928	8				
	B.執行済額		148	3,359	118,688					
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)			0		0				
	平X1丁4	<u> </u>	9	90.0%	90.09	//				
	予算	の状況の説明	支援企業が支援金	額上限額よ	⊧り低い金額での)申請を行ったこ	ことにより柔	系託料の不用か	ざ出た。	
		LIOが手動日本	·西 / 十匕 +西 \					達成状況		
		H24活動目標	京(1日1 示)		24年度	25年	度	26年度	27年度	28年度
	. 结场白	的に県外展開する	2 个坐古垤数	目標	3件					
	' 作貝 1"╩ μ	リに 宗 가 成 m フ 。) 止未又饭奴	実 績	4件					
活動目標 (指標)及び 達成状況	. I本I求?	包盛調査研究事業		目標	2件					
	<u>, ትነበ ት</u>	世紀神 보까 八字 ㅋ	長又扱 IT 奴	実 績	2件					
	達成		及び調査研究事業			- + * ' + *		·· - #:- Lot	~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·-· · · /4
	状況説	等、一定の成果	については4件を採 見が上がった。 については2件を採							侍した条件かのる
	明	H24成果目材	票(指標)		基準値	24年	度	25年度	26年度	目標値
				目標	(年度) -	3,30	0			(26年度) 7,558
	Ì	泡盛の県外出荷数	效量 3,300KL	実績		3,33 (暫定 [/]				-
成果目標 (指標)及 び	【参考排	旨標】		目標		(E.C.)				
進捗状況				実績						
	進捗	75.00								
	状況説明	泡盛の域外出	対量は、平成16年度を 対荷拡大をはかるため から3,339KL(H24暫定	め、県外出社	荷数量の減少傾				を図るべく、事業	を実施したところ、

H21-No.86

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

組 മ 検

証

いる

平成24年度における泡盛の出荷数量については、出荷数量全体として減 少傾向にはあるものの、県外出荷数量については微増したことから、この拡 大傾向を持続的なものとして定着させる必要がある。

長期化する景気低迷による飲酒機会の減少や消費者の嗜好の多様化により、県外での泡盛の認知度は約9割と高いが、実際に飲酒したことのある人の る市場競争の激化、若者のアルコール離れ等により、テレビ番組等の影響で割合が約2割といわれており、泡盛のブランド力の強化や付加価値の向上等 沖縄ブームとなった平成16年をピークに、泡盛の出荷数量は減少を続けて の取り組みを継続して行うことで、県外での消費拡大につなげたい。また、本 事業を通じて酒造所の域外展開に対する意識の向上を図る。

今後の取り組み方針

継続的なプロモーション及び域外展開の支援を行い、出荷数量の拡大を目指す。また、調査研究結果を各酒造所へ情報提供し、泡盛の新商品開発や付加価値 の向上などに活用していきたい。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 交付対象 交付対象外 総事業費 うち交付金 うち県負担金 うち市町村 事業費 その他(%) 経費 充当額(80%) (20%)負担金(%) 3,642 152,002 148,360 118,688 29,672 企業支援事業(22,232千円) 総事業費の2/3補助、上限10,000千円 委託料 補助 株式会社アドスタッフ博報堂 崎山酒造廠 1,143千円 114,879千円 114,879千円 株式会社南西 1,813千円 瑞泉酒造株式会社 9,496千円 有限会社山川酒造 9,780千円 委託 調査研究事業(35,095千円) 株式会社バイオジェット 25,000千円 有限会社生物資源研究所 10,095千円 (自社経費) 、T ににより プロモーション事業(34,693千円) ・事務費(人件費、審査員報酬など) (22,859千円) 沖縄県 交付対象 事業費 148,360千円 展示会への出展に係る 沖縄県酒造組合 補助金 経費の補助 32,777千円 32,777千円 交付対象外経費 3,642千円 事務費 需用費、旅費、役務費 704千円

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
途の		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、
の点検		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考 えている。
評費価目		受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。

		平成24年月	<mark>变沖縄振興特</mark>	別推	進交信	寸金事業	(県分)	検証:	ノート【名	表用】		
事業番号 • 事業名	87		戦略的製品	品開発	支援事業				世紀ビジョン	第3章-3	3-(9)-ア	
担当部課名	商工	 労働部 ものづく	り振興課		業実施	平成24~	26年度		画該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
				,	定)年度			該	興基本方針 当箇所		1-(4)	
事業内容			(り産業の創出を図る 対して開発費の助成								の高い。	
実施方法		■直接実施	■委託 □	l補助		〕負担	口その他	()				
				24年		人 本业哲	25年[变	26年度	Ę	27年度	
		(a) 当初予算額	257	,811	フクダヤ	金充当額 206,248						
	予算	(b) 予算現額	257	,811		206,248						
予算額・ 執行額 (単位:千円)	がの状	(c) 増減額(b-a)		0		0						
	況	(d) 前年度繰越額	-			-						
		A. 計(b+d) B. 執行済額	257. 187.			206,248 149,958						
		次年度繰越額	107	,447		149,956						
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)		73%		7:	3%						
	予:	算の状況の説明	70,364千円の不用客 執行残である。	頂が生	じているか	が、内訳は委	託先事業者に	おいて採	尺した製品開発	プロジェクトの話	辛退(1件)による	
									達成状況			
	H24活動目標(指標)					24年度	25年月	度	26年度	27年度	28年度	
	支援プロジェクト供 物				標	3件						
	支援プロジェクト件数				績	3件						
活動目標 (指標)及び					標							
達成状況					績							
	達成状況説明	プロジェクトを回の採択プロ	公募し、第1回は66 ジェクトは被採択企			ため、24年					t=.	
	15.15	H24成果目4	漂(指標)	/		基準値 (24年度)	24年月		25年度	26年度	目標値 年度)	
	【参考 県調		月化:試作品ができ	目	標	0%	45%				45%	
	*算ション の実 例:4	用化率42%の同等の	省の地域イノベー 業の製造技術分野 の水準に設定。 、2件が実用化に成	実	績		100%	1 6				
成果目標 (指標)及び	【参え	告指標 】		目	標	_	_				_	
進捗状況		品出荷額(石油・石	「炭除く)	実	績	3,992億円 (21年)	3,871億 (22年				6,300億円 (28年)	
	【参考	告指標 】		目	標		_				_	
		業従事者数		実	績	24,812人 (21年)	24,830 (22年				27,500人 (28年)	
	進捗状況説明	行っていく。	、平成24年度でプロ	リジェク	 小が終了!	— <u>—</u> した1件につし	— <u>—</u> いては試作機	 が完成した		<u></u> 比に対応するた	─── ─ ────────────────────────────────	

H24-No 87

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

県内総生産に占める製造業の割合が、全国平均(19.6%)に比べ、本県は4.0%と低く、さらに、20人以上の事業所数の割合は全国平均(17.2%)に比べ沖縄県は10.9%と小さく、人材や資金などの経営資源が十分でないため、本県には特性のある地域資源や産学官連携等による事業化ニーズが存在するにもかかわらず、それに基づく高付加価値製品の開発が十分な規模となっていないことが課題である。

Ħν

組

മ

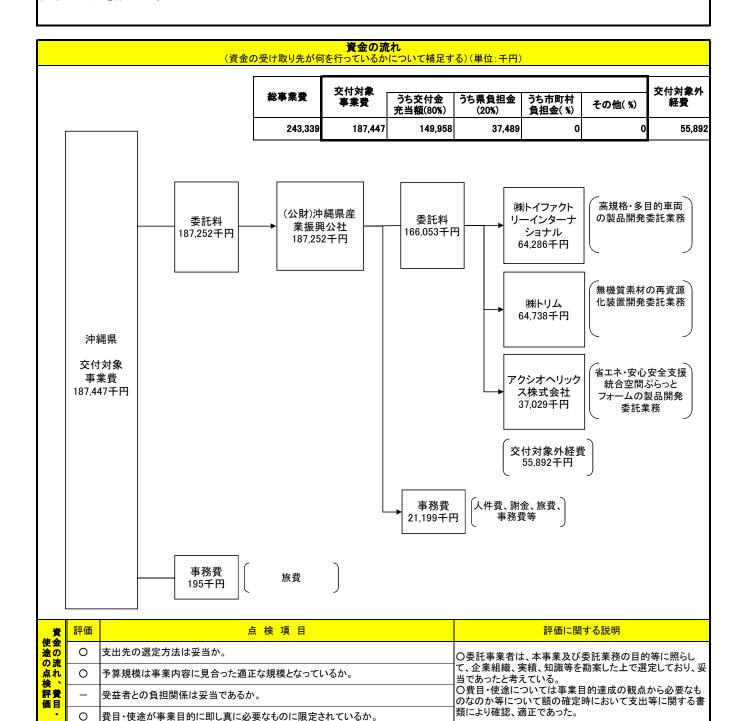
検証

本県の地域資源や特性を活用した高付加価値製品の開発を促進し、ハン ズオン支援やフォローアップを実施し、早期の事業化を図る。

今後の取り組み方針

地方の中小企業や大学、公設試等の連携によるこうした取り組みは、我が国の製造業及び関連産業の成長へ大きく貢献するものと考えており、引き続き国費投 入により事業化を図りたい。

バースタグラボにと困りたい。 終了プロジェクトについては、フォローアップの結果、確実に実用化できており、今後も引き続き継続案件や新規採択プロジェクトについて実用化が促進されるよ うフォローアップを行っていく。



		平成24年	<mark>度沖縄振興特</mark>	別推	進交位	付金事業	(県分)	検証	シート【公	表用】			
事業番号 ・事業名	106		県産品拡大	展開総	合支援事	業		Safe Area	21世紀ピジョン	第3	章 - 3	- (9) - イ	
* テ未口		<u> </u>		-	業実施				計画該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブラン ドの形成			
担当部課名	商工党	労働部 国際物流	推進課	(予定)年度			33年度	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所			- 1 - (3)		
事業内容				:め、県産品の商品特性の浸透を でのマーケティング調査を実施す?			プロモ	ーション事業を展	開し、商品	開発支	援やビジネス		
実施方法		直接実施	委託	補助		負担	その他	()					
				24年度		金充当額	25年原	度	26年度	度		27年度	
		(a)当初予算額	273,	426	73213	218,740							
	予算	(b)予算現額	273,	426		218,740							
予算額・ 執行額 (単位:千円)	の	(c)增減額(b-a)		0		0							
	況	(d)前年度繰越額 A.計(b+d)	- 273,	126		218,740							
		B.執行済額	187,			149,782							
	ž	欠年度繰越額	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0		0							
	執行	<mark>5率(%)(B/A)</mark>		68		68							
	予算	章の状況の説明	海外展開支援企業 たこと等により、不足					の緊張の)高まりにより、広	州でのフェ	:ア等か	が実施できなかっ	
		110427 = 14 12 1							達成状況				
	H24活動目標(指標)					24年度	25年	芰	26年度	27年月	芰	28年度	
	·海外展開支援企業数(食品分野)				標	35件							
					績	18件							
	·海外展開支援企業数(工業製品)				標	10件							
					績	7件							
活動目標 (指標) 及び達成状況	・海外バイヤー招聘				標	2回							
及び達成状况	7-371	711 3413		実	績	2回							
	·現地	!商談会(海外)		目	標	2回							
		,		実	績	7回							
	達成			海外)	の開催I ことや、	こついては、 支援企業選系	まぼ達成でき E審査会にす	きたが、	海外展開支援1 2援企業の絞り込	È業数(食 込みを行っ	品分野たため	予·工業製品分 か、目標を下回	
		H24成果目	票(指標)			基準値 (22年度)	24年月	芰	25年度	26年月	臣	目標値 (34年度)	
	⇔ ₩1		t∖∖ のねん山 タスラ	目	標	3,166百万円	3,482百	万円				6,332百万円	
	' 艮科	·品·飲料(泡盛含	5)の期16月	実	績	-	2,885百	万円				-	
成果目標 (指標)				目	標								
及び進捗状況				実	績								
	進捗状況説明	ただし、酒類に り、事業に対す	長の高まりの影響等: 関しては、酒類に特付る一定の効果は得ら も一定の効果は得ら 特計の輸出額:2,630=	とした見 れた。	見本市への	の出展、商談会			ら、泡盛の輸出量	量が前年の	約2.7倍	らに増加してお	

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

組 の 検

証

那覇空港を拠点とする国際貨物ハブ事業が開始されており、ハブの就航する都市を中心に、県産品の海外輸出量は増加傾向にあるが、主に県内中小企業を中心に、関税や輸出国における文化、宗教等の障壁により、現時点 では、海外への販路拡大よりも国内への販路拡大を希望する企業も多い。

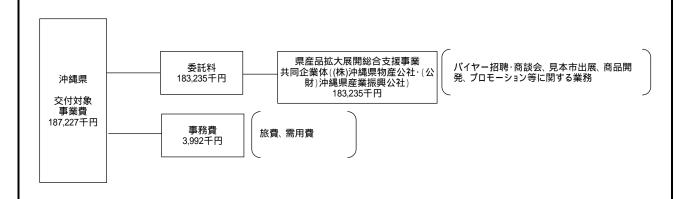
県外及び海外への販路拡大における県内企業のボトルネックを把握し、 より効果の高い支援を展開する。

今後の取り組み方針

- 今後、積極的に海外展開に臨めるよう、向こう2 ~ 3年程度は、主に国内を中心とした販路拡大を支援する。 ただし、海外展開へ積極的な企業については、今後とも継続して支援を実施する。
- より効果の高い支援を展開するため、企業が利用しやすい支援メニュー、支援方法に改める。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	交付対象					交付対象外
総事業費	事業費	うち交付金 充当額(80%)	うち県負担金 (20%)	うち市町村 負担金(%)	その他(%)	経費
187,227	187,227	149,782	37,445	0	0	0



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
i i	吏金の流れ、		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企画提案公募により業務実施体制、知識
后加	点れ、		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	等を踏まえて選定しており、妥当と考えている。
言行	学費	ı	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目、使途は委託料の額の確定時に書類により確認して
"	•		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	おり、適正であったと考えている。

	平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】										
- 事業番号 - 事業名 107 沖縄サポーティングイ					ストリー	-基盤強化事業	ŧ	油烟 01	шелегет.	第3章	-3-(9)-ア
	担当部課名 商工労働部 沖縄県工業技術センター				業実施			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		ものづくり産業の振興と地域ブラ ンドの形成	
担当部課名	商工労働部 沖縄県工業技術センター				平成24~2 (予定)年度		25年度		興基本方針 当箇所	Ш	[-1-(4)
事業内容	平成24年度は、粉末焼結型			すを育成するため、沖縄県工業技術も ロトタイピングシステムを導入すると			属部品や金型を製作する		ための最先端	帯機器を導入する。	
実施方法		直接実施	□委託 □	補助		口負担	口その他	()			
				24年		+	25年』	度	26年度	Ę	27年度
		(a) 当初予算額	31	,716	75父1	寸金充当額 25.372					
	予	(b) 予算現額		,716		25,372					
		(c) 增減額(b-a)									
予算額・	状況	(d)前年度繰越額	_			-					
執行額 (単位:千円)		A. 計 (b+d)	31	,716		25,372					
	_	B. 執行済額	30	,448		24,358					
		次年度繰越額 	,	0		0					
	¥从17	F率(%)(B/A)	٤	96.0		96.0					
	予算の状況の説明		備品購入費における入札残により不用額1,268千円が生じているが当初事業内容を予定どおりまることができた。							定どおり実施、	、概ね予算を執行す
	H24活動目標(指標)				達成状況						
						24年度	25年月	度	26年度	27年度	28年度
	各種先端機器の利用件数				標	190件					
活動目標					績	277件					
(指標) 及び達成状況	金型等試作件数				標	20件					
				実	績	20件					
	達成 状 各種先端機器の利用件数は5軸 金型等試作件数はブレード、バル 説 明								:277件となり	月標を達成	L <i>†</i> ≃。
		H24成果目	票(指標)			基準値 (年度)	24年月	度	25年度	26年度	目標値 (25年度)
	共同研究等の数				標		2件	:			2件
				実	績		3件	-			
		人材育成	之人数	目	標		8名	i			8名
成果目標 (指標)				実	績		8名	i			
及び進捗状況		指標】		目	標					27,500人	
				実	績	24,812人 (21年)	未公	表			
	進捗状況説明		を活用し、共同研究等 的にも高い水準のも							とができた。	

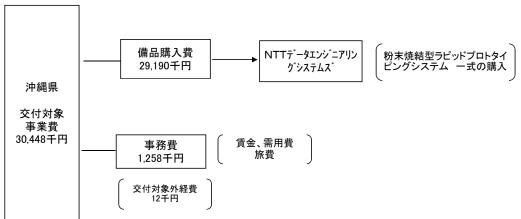
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 県内製造業の底上げを図るためにはサポーティング産業の振興が欠かせないことが広く認識されつつある。 一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄が金型技術研究センターが併設された素系材向け賃貸工場に入居し、効率的に事業を推進することができた。

今後の取り組み方針

本事業のように先端機器の導入と共同研究による人材育成を同時に行うことは従来事業では実施できないため、国際的にも高い水準のものづくり人材の育成を 図るために交付金により引き続き取り組む必要がある。 なお一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄と協力し、事業を効率的に推進していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 交付対象 交付対象外 総事業費 うち交付金 うち県負担金 うち市町村 事業費 経費 その他(%) 充当額(80%) (20%) 負担金(%) 12 30,460 30,448 24.358 6.090 0



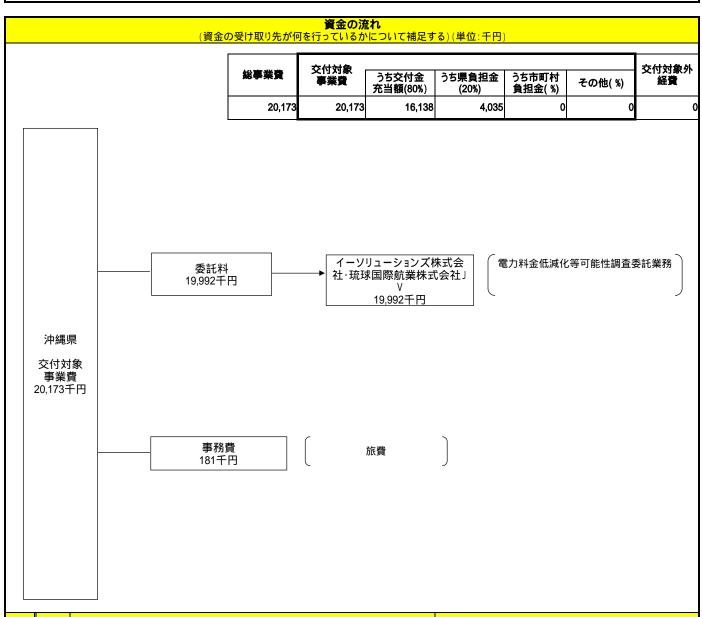
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。				
点れ	0		〇備品は機種選定委員会において承認を受け、財務規則に 則り購入手続きを行った。導入した備品は事業目的に即し、			
検評費価	_		共同研究、人材育成に使用されている。 〇本事業は直接執行事業であり受益者負担はない。			
, m	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

	7	平成24年	き沖縄振興特	別推	進交位	付金事業((県分)	検証	シート【公	表用】	
事業番号 ・事業名	162		電力料金低減的	化等可	能性調査	事業		沖縄21世紀ピジョン		第3章 - 3	3 - (9) - ウ
担当部課名	商工労働部産業政策課				業実施	₩#: 2 C 2	7.午 座	基本計画該当箇所		ものづくり産業の振興と地域ブラ ンドの形成	
担目部硃石	冏工チ] 割部 医		平成26~27年度		. / 平段		辰興基本方針 该当箇所	-	11-(3)	
事業内容	地理的・地形的および需要特自貿)周辺において、電力		需要規模の制約に。 電力一括受電や再5	はり、 他県に比べて割高な電力料金の低減化 主可能エネルギーの効果的な活用等による		化を図る 3電力料	ため、うるま市の 金低減化の可能	D国際物流拠点 性を調査する。	産業集積地域(旧		
実施方法		直接実施	委託	補助		負担	その他	()			
				24年月		金充当額	25年度	度	26年度	Z#	27年度
		a)当初予算額	20	,237	75211	16,189					
	_ F	b)予算現額		,237		16,189					
	の (c)增減額(b-a)		0		0					
予算額・	\ \ + −	d)前年度繰越額		-		-					
執行額	""	A.計(b+d)	20	,237		16,189					
(単位:千円)	E	3.執行済額	20	,173		16,138					
	-	(年度繰越額		0		0					
	執行率(%)(B/A)			9.68%		99.68%					
	予算の状況の説明 はば計画通りの予算執行となった。										
		H24活動目木	更(均標)	達成状況							
		1127/口到口1	ਲ (J ដ 1 ਲ <i>)</i>			24年度	25年月	芰	26年度	27年度	28年度
	電力料金低減化の手法提案書及び事業実 施計画書案の作成					画書案の作成					
活動目標	他計画	間音条のTF成		実		·画書案の作成 冊)					
位割日保 (指標) 及び達成状況				目	標						
				実	績						
	達成				めた結果	域において、3 以活動目標の	立地企業及 100%にあ	が関係 たる電	機関とのヒアリ 力料金低減化 <i>0</i>	ング等を実施し)事業実施計画	、電力料金低 函書の案を作成
		H24成果目标	票(指標)			基準値 (年度)	24年月	芰	25年度	26年度	目標値 (年度)
	電力料	4金低減化の手法	提案書及び事業実	Ш	標		計画書案の	D作成			
	施計画	画書案の作成		実	績		計画書案の (1冊)	D作成			
成果目標											
(指標) 及び進捗状況								\dashv			
	進捗状況説明	この事業計画 きる。	案を実現することに。	より、事	 『業目的で	である電力低コ	 ストでの安定	『供給の	実現に向けた電	力料金低減効果	- の発現が期待で

#進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 調査対象地域における電力料金低減化の手法は複数考えられるが、いずれも初期投資に多額の費用がかかることから、民間主体による事業化の可能性は低いという課題が明らかになった。 「実際の事業化にあたっては、初期投資の一部または全部を県が負担する条件で実施主体を公募し、実施主体と詳細な事業計画等を設定した上で実施する必要がある。

今後の取り組み方針

作成した事業計画を実現するため、事業化にあたっての初期投資費用を予算化した上で、実施主体を公募により選定し、継続的な事業展開に向けた取り組みを 実施する。



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
19	を金の流れ		支出先の選定方法は妥当か。				
点核	が れ れ、		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託先の選択方法は公募による			
部	費		受益者との負担関係は妥当であるか。	予算規模等は事業内容に見合った適正な規模と判断できる			
"	7.7		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

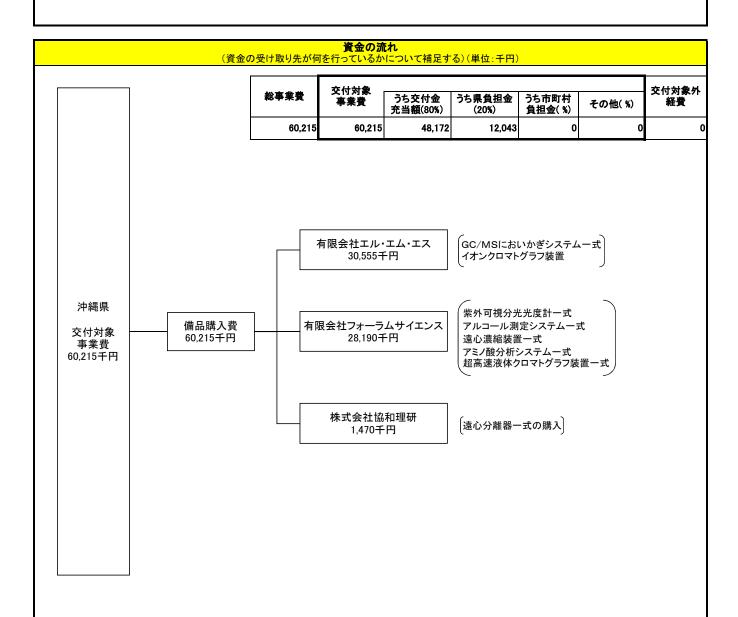
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】													
事業番号	203		泡盛古酒香	気成:	分調査事業	ŧ		***** *******************************	шеті 200-	第3章-3-(5)-ウ			
- 事業名		İ				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		研究開発成果の技術移転による			
担当部課名	商工	労働部 工業技術	術センタ ー		事業実施 平成24年度		- 油銀士		興基本方針		業の高度化		
				(ア足/平及			該	当箇所	Ⅲ-	1-(4)			
事業内容	事業内容 沖縄県の伝統的発酵食 カニズムや貯蔵条件の												
実施方法		■直接実施 □委託 □		補助		〕負担	□その他	()					
				24年			25年度	F	26年月	ŧ	27年度		
		(a) 当初予算額	65.0	000	うち交付	金充当額 52,000							
	予	(b)予算現額	,	000		52,000							
		(c) 增減額(b-a)	,	0		0							
予算額・	状況	(d)前年度繰越額	_		-	-							
執行額 (単位:千円)		A. 計 (b+d)	65,0	000		52,000							
	_	B. 執行済額	60,:			48,172							
		欠年度繰越額 		92		92							
	‡ Х1	J 华(%0)(D/ A)		92		92							
	予算	章の状況の説明	機器の導入に伴う入	入札残により当初予算より4,785千円の不用が生じることとなった。									
	H24活動目標(指標)				達成状況								
					24年度 25年			麦	26年度	27年度	28年度		
	分析機器8機種の導入				標	8機種							
					:績	8機種							
活動目標 (指標) 及び達成状況			-	目	標								
					:績								
	達成状況説明		ヽかぎシステム、イス ・ステム、超高速液(フ装置、遠心				定システム、遠	氢心濃縮装置、		
		H24成果目標	票(指標)	/		基準値 (年度)	24年度	E	25年度	26年度	目標値 24年度)		
	分析 備	機器8機種の購入に	こよる研究環境の整	目	標	_	研究環境の)整備			100%		
	VĦ			実	: 績	-	研究環境の)整備			100%		
成果目標 (指標)		指標】 R成果の技術移転(牛数	目	標		5年後の (5件)				10年後の目標 (10件)		
及び進捗状況		世紀ビジョン実施計	画)	実	: 績	2件 (H23年)							
	進捗状況説明		24年度は予定してい 支、26年度にこれら の				を完了した。						

H24-No 203

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 伝統的な泡盛醸造技術のエビデンスを付加するために必要な分析機器の導 入ができた。 これにより泡盛古酒香成分の生成メカニズムの解明を効率的に推進できる。

最先端分析機器の活用により先行的な基礎研究の推進(平成25~27年度)

・泡盛古酒香成分の生成メカニズムや貯蔵条件の及ぼす影響を明らかにし、泡盛古酒の製造技術にフィードバックを行うことにより泡盛産業の技術高度化を図る。



資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
迷の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。				
点れ検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のであり、適正であったと考える。			
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				